

# ④ 私たちの選択、 私たちのこれから

## 「戦争する国」 or 「憲法9条を生かす国」

平和・外交の問題をめぐって、ふみこんだ政策や発言が出されています。

憲法を「改正」し、自衛隊を「国防軍」として位置づけることや、海外で武力行使を可能とする「集団的自衛権の行使」を盛り込んだ政権公約、「憲法改正」をかけた、「憲法9条を変えるか否かの国民投票」を明記した政策が出され、議論になっています。

また、「日本は核兵器に関するシミュレーションぐらいやったらいい。これも一つの抑止力になる」と、核兵器の保有を肯定するような発言も報じられました。

これまで日本は、過去の戦争への痛切な反省から、「戦争はしない」「戦力は持たない」とする憲法9条を堅持してきました。また、被爆国として、自ら核兵器は持たず、核兵器の配備や持ち込みも許さない、非核三原則を掲げています。憲法9条を変えて、日本を「戦争する国」にしてしまうのか、それとも憲法9条を生かす国にするのか、今、大きく問われています。



文部省「あたらしい憲法のはなし」より



「あたらしい憲法のはなし」とは…太平洋戦争後、日本国憲法が公布された際発行され、全国の中学一年生の教科書として読まれたものです。

### 海外メディア 日本を「右傾化」と表現

2012年9月21日付、米ワシントンポスト電子版で、日本が中国との尖閣諸島の領有権などをめぐって「徐々にだが、右傾化への重大な変化の真っ只中」にあるとする記事が掲載されました。その中で、憲法9条を見なおす動きを紹

介し、首相、大阪市長などの名前をあげています。

日本が平和憲法を堅持し、アジアの中で友好関係を築いていくのか、憲法9条を変えて「右傾化」の道を進むのか、海外からも警戒されています。